

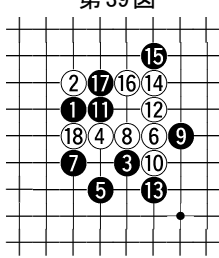
# 遊星ガイド (5)

九段 河村典彦

前回の黒5の続きから。

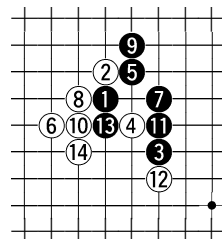
【第38図】この黒5は成立する。白6に黒7と打って好調のように見えるが、白8と止められると長星定石のように打開策に苦勞することになる。

黒9、11はできれば打ちたくないのだが、白にそこを占められるのも困る。したがって打っていくしかないのだが、自然に攻め筋が止められるのが痛い。白14までに一旦黒15と止めておき、黒17、19と展開してどうか、という形勢である。しかし、白に正確に止められると黒も勝てないので、盤面全体でコントロールしていくことになるだろう。



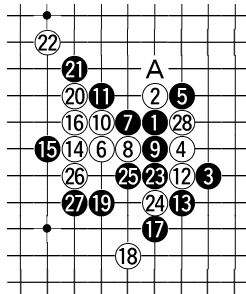
【第39図】同じようでも黒5は成立しないので要注意だ。白6に黒7と打つと、白2がちょうど連を止めているので白8から白追いつき勝ちになってしまう。黒9を18に止められないからである。やむなく黒9に止めても白10と飛び出されると以下容易である。黒7を他に求めても、白は17など好点がいっぱいあるので黒が止め切るのは容易ではない。したがって、この五珠は外す必要がある。

第40図



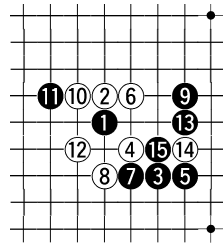
【第40図】この黒5が最も手堅そうに見えるが、実は白に恐ろしい一手がある。それが白6！である。普通は10に叩きそうなので。それなら黒も7に打って十分戦える。同じような考えでうっかり黒7と打ってしまつと、先に白8と打てるのが大きく、白10に黒11とノリ手を打った時に、白12と止められて飛び上がることになる。13の点に四三が残っている。やむなく黒13と防ぐが、白14と引かれてはもう防ぎがない。

第41図



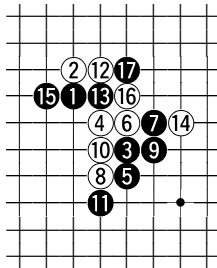
【第41図】したがって黒7は防ぎに行くしかない。白8を打てる。ここが白6の効果である。こうしておいて、白10と固まるのがまた強い。ここまで欲張られると、黒も11、13と防ぐしかないだろう。白はなおも14とけん制しておく手強い。こうしておけば、黒の引き筋に対し、白Aで間接的に受けていることになる。こうなると黒は15と全力で防ぐしかない。なおも白16と密集するが、黒17、19で何とか受かっているようだ。白20の三々には黒21、23が先手なので受かつており、逆に白28まで後手を引かせることができ。ここで黒が手を入れておけば長い戦いになる。黒としては、防ぎ一方でよく防ぎ切れる展開となるので、この黒5を五珠候補として提示する時には余程の覚悟が必要だろう。

第42図



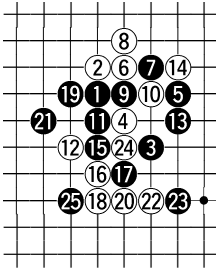
【第42図】先程の黒5では白にけん制されたので、どうせならけん制されるこの5の方が却って考えやすい。しかもよく見ると、黒1と白2を除けば銀月の形である。怖いのは白2と関連した防ぎ、例えば白6である。しかしこれにも、黒7、9で黒は万全である。白10、12でけん制されているように見えるが、黒13、15と引けるので大丈夫。

第43図



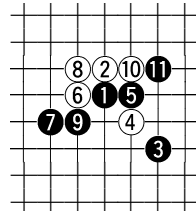
【第43図】ではこちらの黒5ではどうか？という話だが、こちらは少しややこしい。と言うのも白6で2の石とつながってくるからである。黒7、9は銀月定石では必勝定石なのだ。この場合は黒1の石を逆用されて白12の飛び四がやってくる。肝心の所を三々禁にされてしまい、ちよつと困ってしまう。打開するには黒15が必要で、黒17と防いで何とか受かりそうだが、

第44図



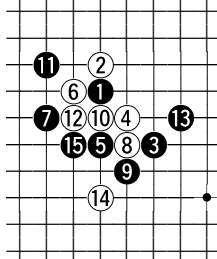
【第44図】黒5とこちら側に広く打つのもありそうである。白6なら黒7がびつたりの形。白8と打たせて、黒9から手順に引いていく。ん？黒13で銀月定石に戻っているように見えるが、少し違うようだ。しかし、似ていることには間違いなく、黒有利に展開できるだろう。なお、白6を19なら、黒24に打っておく。

第45図



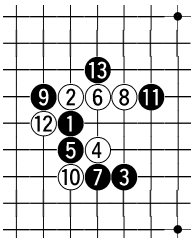
【第45図】黒5と打てば、雲月雨月の桂馬挟みで異着の黒5を打つたことになる。だが、何となく安心感がある。白6と打たれると、黒は7から打たなければならぬ。ただ、これで黒が不利かと言うとそうでもなく、実戦では案外白の方が困ることが多い。白8と密集されるのが怖い。黒9と打ち、白10にも黒11から止めることができる。

第46図



【第46図】瑞星共通のこの5には、やはり白6が気になるが、第37図に戻っている。今回は、単に黒7と叩く手を調べてみよう。白8と割り込んで、黒9、白10に対し黒11から止めていい勝負だ。以下黒15までの展開は、やや黒が外に回っていると言えるだろう。白6をその他なら、とにかく黒8と引いてから考えたい。

第47図



【第47図】最後に黒5を考えてみよう。この5は、松月、雲月、雨月からも現れる。白6を12に打てば第45図に戻ることになる。他の防ぎとすれば白6だろう。この手に対しては当然黒7と下から受ける。白8を9なら黒8に止められてしまうので、白8と引くが、黒9で白10、12を強要し、黒13まで外に回ってどうだろうか。